

「働く女性」にみる、社会変化の兆し

2004年3月16日 日経ウーマン編集長 野村浩子

I) 前提として

◆今なぜ、女性、とりわけ働く女性が注目されているのか

これまでの企業社会、社会の仕組みの行き詰まり⇒見直しが必要とされるなかで、女性の働き方、視点が、これからの仕組みづくりのヒントになる

◆日経ウーマン読者とは？

- ・20代、30代の働く女性。約半数が正社員、一般事務職が半分ほど。平均年収は300万円台後半。約6割が独身。結婚相手には、共働きができる夫を選ぶ
- ・「日経ウーマン」は男女雇用機会均等法を受けて88年に創刊

II) 日経ウーマンが捉えた、働く女性の意識・ライフスタイルの変化

◆仕事観

1) 短距離走から長距離走へ。仕事を長く続けるように

- ・勤続年数のアップ
- ・結婚・出産しても仕事を続けようとする人が増える
- ・雇均法後入社した女性が管理職となり、組織の中核に入り始めた

⇒その要因

①仕事を長く続ける環境が整ってきた。

男女雇用機会均等法から18年。育児休業給付金制度で、月額40%支給

②もはや男性に頼れない、と自覚

2) 「好きなことを仕事に」から「仕事は自立のための基盤」へ

- ・男性の仕事観に近づいてきた
- ・一方で「やりたいこと」探し、「自己実現」できる仕事探しも続く。収入頭打ちのなかで、お金ではない「やりがい」を求める傾向も——NPOや社会貢献事業への関心

3) キャリアには不安あり。依然続く、「手に職」志向

4) 収入は無理なく上げたいが、現実的には「横ばい」か。副業にも関心あり

- ・約半数が、副業に関心あり。現在副業をしている人は約1割

5) 理想のワーク&ライフスタイルは、仕事と家庭を無理なく両立する「北欧型」

◆結婚観、出産・子育て観

1) 妥協してまで結婚したくない(する必要もない)。だけど、いいパートナーが欲しい

・夫に求めるのは、「収入の安定」よりも「価値観の一致」

2) 家庭は「共同経営」型にしたい。パートナーは、「トラ男」より、「ヤギ男」がいい

・独身の男女ともに「大黒柱は1本から2本へ」と考える。独身男性は、家事を4割ほど引き受ける覚悟？！

・ハッピー既婚者のパートナー(夫)は、トラ男6%、ヤギ男57%、ヤギ男とトラ男のハイブリッド38%(日経ウーマン2001年8月号より)

※ヤギ男、トラ男は、日経ウーマンのネーミングで、定義は以下の通り

▽トラ男＝野心的で仕事ひと筋。家事・育児は女性の役目と考える

▽ヤギ男＝男女の役割分担にはこだわらず、共働きで、家事・育児は分担していこうと考える。出世志向は強くない。

▽ハイブリッド男＝ヤギ、トラ、両方の性質をもつ。両者の混合比率はそれぞれ

3) 結婚・出産で、「生活が変わる」ことが不安

・自由がなくなる、今の働き方のまま仕事を続けるのは難しそう、家事負担が重くなりそう、生活レベルが下がりそう、趣味を続けるのは難しいかも・・・

・結婚しても「ひとり時間」を大事にしたい。

4) 夫婦や家族の新しい形を模索中

・母親(20代の場合、多くは団塊世代)から受け取る、ダブルメッセージ。「仕事をして自立を」「やはり結婚して母親になるのが女性の幸せ」。これが無意識の中に刷りこまれていて、思い悩む

5) 子供は欲しい、と思いつつも先延ばし。気になる出産のタイムリミット

・子供は欲しい(約8割)が、子供を産むことに「ためらい」がある(約7割)。

・子供を産んだら犠牲にしなければならないものがあると思う(約8割)が、子供を産んでも犠牲にしたくないものがある(約6割)。

・「出産限界年齢」が気になる

◆収入と仕事・私生活満足度の関係

～年収と、仕事満足度、収入満足度、私生活満足度、トータル満足度をみてみたら（別紙参照）

満足度の転換点は、年収 500 万円と 600 万円、そして 1000 万円

- ① 年収 500 万円を超えると、収入満足派が増える
- ② 年収 600 万円で、仕事満足度、職場満足度がピークになり、年収 900 万円まで満足度は横ばい。
- ③ 年収 1000 万円を越すと、仕事満足度は再び上昇
- ④ 「私生活満足度」は、年収に関係ない
- ⑤ 「トータル満足度」の高い職種は、仕事の時間単価が高く、拘束時間の割に高収入。比較的自由になる時間があるので、仕事と家庭を両立させやすいもの

◆マネー感覚

1) 20 代のうちから、「老後資金」が心配

～貯金をするのは「老後が不安だから」が N01、公的年金に不安あり、が 93%

2) 親世代（50 代～）のマネープランはもはや通用しない中での不安感

Ⅲ) 女性の変化からみえてきた課題

◇男女ともにワークライフバランスのとれる職場環境づくり

～育児休業制度、時間短縮勤務制度など

◇職場で、男女に平等なチャンスを与える

～雇用、教育研修、昇進昇格など

◇若者の仕事観育成のために

・ 中学・高校で、仕事観を育む教育を。1 週間以上の職業体験、起業プチ体験セミナーなど

・ 中学・高校で、個を軸としたキャリアプラン、マネープランを立てる教育を

・ 数多くのロールモデルを提示～あんなふうになりたいという「カッコいい大人」のロールモデルに触れさせることが大切

◇個人のキャリアプラン支援のために

～キャリアカウンセリングの充実、社会人入学や生涯教育の支援など

◆世帯単位ではなく、個人単位の社会保障制度に

◆国民が、あるべき社会像のイメージを共有する。そのためにはどんな税制、社会保障制度が必要か、を理解し、納得した上で納税する

◆税金や社会保険料を通して、国や社会を支えていく――、それが一人前の大人の社会的責任であることを、教育を通して育む。

【図 1】

読者アンケートより

Q 現在の収入を教えてください

平均年齢●31.5歳

月収(額面)24万円

年収(額面)

357万円

【図 3】「仕事は生活費を得る手段」が約7割

Q 仕事をする理由は？(複数回答)

生活費を得るための手段73.8%
自己実現41.3%
自立するための必須要素38.8%
社会に参加している証29.0%
自分の存在を人に
認めてもらうもの23.4%

Q あなたにとって収入とは？(複数回答)

生活するために必要なもの80.9%
自分の頑張りに対する評価45.8%
自立に欠かせない要素38.1%

【図 2】スキルや専門性を身につけ

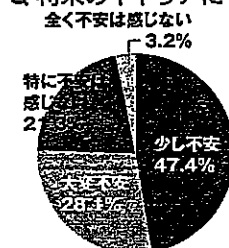
一生働きたい

Q 将来的に理想とする
収入とキャリアの関係は？

コツコツとスキルや専門性を身につけ、
一生確実に収入を得たい39.7%
今の仕事を長く続けて収入は
安定的にUPさせたい16.2%
収入は多くなくても、私生活を
大事にしながら細く長く働きたい12.6%
今のうちによく働いてお金を貯め、
人生の後半では好きなことをして暮らしたい
.....12.6%
事業などを成功させて、いつかは
ものすごく稼げる人になりたい8.4%

【図 4】「キャリアに不安あり」が約8割

Q 将来のキャリアに不安がありますか？

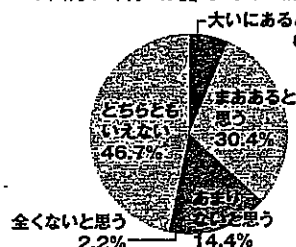


Q 「大不安」「少し不安」と答えた方。
それはどんな不安ですか？(複数回答)

- 1 自分のスキルや専門性が低いと感じている...47.4%
- 2 収入がこのまま上がらないかもしれない...41.0%
- 3 今やっている仕事に未来を感じない...29.0%
- 4 会社で出世の見込みがない...21.2%
- 5 いつリストラされるかわからない...20.6%

【図 5】半数以上が「稼ぐ力」に自信がもてない？！

Q 自分に「稼ぐ力」があると思う？



Q いずれ実現したい理想の年収は？

平均671万円

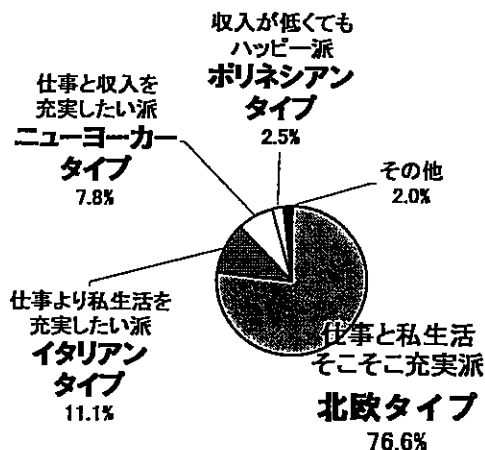
Q 自分の今の市場価値は
年収でいくらだと思ふ？

平均388万円

【図 6】理想のライフスタイルは

仕事と私生活のバランスがとれる「北欧タイプ」

Q 理想とするライフスタイルは？



【図 7】スキルアップして収入上げたい

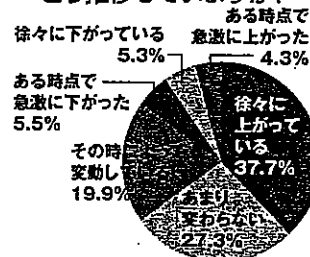
Q 今後、収入と仕事内容、ライフ
スタイルの関係をどうしたい？

仕事の比重はそのまま、
スキルアップし収入を上げたい
.....43.9%

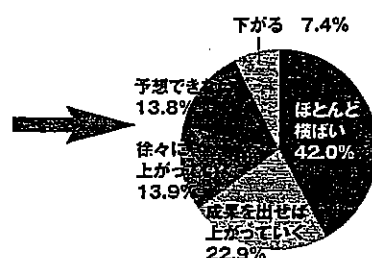
収入や仕事は今のままで、
私生活を充実させたい16.3%
仕事の比重を上げてほしいから、
とにかく大幅に収入を上げたい...13.8%
収入は今のままで、時給を上げて
勤務時間を減らしたい7.2%
収入は今のままで、
仕事のやりがいを上げたい7.1%

【図 8】4割がこれからは「収入横ばい」かも

Q 収入はこれまで
どう推移していますか？

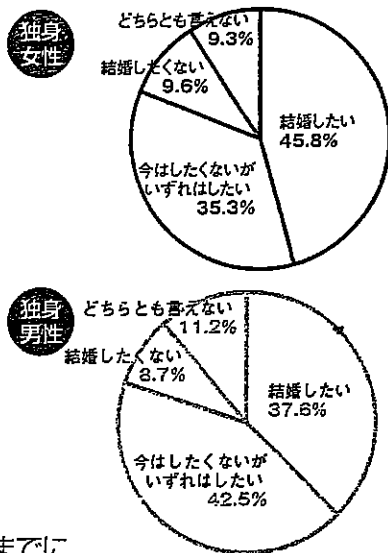


Q 収入は今後どう推移する
と思いますか？



【図 9】独身男女とも約8割は結婚したい

Qあなたは結婚したいですか？



Qいつまでに結婚したいですか？

独身女性 **32.1** 歳 (現在 28.5 歳)
独身男性 **35.0** 歳 (現在 30.4 歳)

【図 10】結婚したいのはパートナーが欲しいから

独身男性

Qあなたが結婚したい理由は？ 複数回答

1. いいパートナーと暮らすのは楽しそう58.8%
2. 温かい家庭が欲しい51.2%
3. ずっと一人では将来が不安35.5%
4. 結婚したい相手がいるから31.2%
5. 子どもが欲しいから26.4%
6. 親を安心させたいから23.9%
7. なんとなく結婚に憧れて18.2%
8. 仕事も一段落して落ち着きたい17.3%

(以下、社会的信用ができる14.2%、普通結婚するものだから16.1%、親がうるさいから10.9%、周囲が結婚していく・妻を養うのが男の甲斐性10.6%、家事や自分の世話をしてほしい9.3%など)

Qあなたはなぜ結婚したいですか？

独身女性

1. いいパートナーと暮らすのは楽しそうだから51.7%
2. 子どもがほしいから47.5%
3. ずっと一人は不安だから36.0%
4. 温かい家庭がほしいから35.8%
5. 結婚したい相手がいるから32.5%

【図 11】結婚のイメージがわからない、結婚どころではない・・・

独身男性

Qあなたが結婚していないのはなぜですか？

1. 相手がいない22.0%
2. 結婚したい相手に出会わなかった12.4%
3. これまでしたいと思わなかった12.4%
4. 落ち着くには早すぎる10.0%
5. 結婚のイメージがわからない8.8%
6. 仕事で成長する時期なので結婚どころではない7.8%
7. 仕事が忙しい5.4%
8. 趣味などで、毎日が楽しく結婚する必要がない4.9%

(以下ライフスタイルが崩れる34%、現在不倫中1.0%など)

独身女性

私達がまだ結婚していないわけ・・・

1. 相手がいない21.3%
2. これまで結婚したい男性に出会わなかった12.8%
3. 結婚の具体的なイメージがわからない10.8%
4. 落ち着くには早い8.5%
5. これまで結婚しようとは思わなかった8.0%
6. 趣味や夢の実現で楽しく、結婚どころではない6.3%
7. 今は仕事の足場を固める時期だから5.3%
8. 自分のライフスタイルが崩れるのがいや4.8%
9. 経済的理由で2.7%
10. 仕事が忙しいから2.5%
11. その他16.5%

【図 13】女性が結婚相手に求めるのは「価値観の一致」

Q結婚相手に求めるものは何ですか？

独身男性

1. 性格の良さ53.2%
2. 自分との相性43.2%
3. 価値観の一致35.1%

独身女性

1. 価値観の一致80.2%
2. 性格の良さ61.6%
3. 収入の安定44.0%

【図 12】結婚して生活が変わるのが不安

Q結婚するにあたって不安なことはなんですか？

独身女性

1. どのように生活が変わるか51.4%
2. 嫁・姑問題44.1%
3. 夫だけと何十年も一緒にやっていけるか41.6%
4. 仕事との両立がうまくいくか30.6%
5. 夫との相性があわなかったらどうするか26.2%
6. 夫の親との同居24.1%
7. 自分の自由時間が減るのではない21.9%
8. 自分の親との同居6.6%
9. その他11.5%

【図 15】結婚しても仕事を続けて生活費は分担する

Q結婚したら妻に仕事してほしいですか？

独身男性

独身女性

1. 今までどおり続けて欲しい38.8% (35.0%)
2. 結婚したら一時期家に入り、その後再就職15.0% (11.5%)
3. ベースダウンして続けてほしい12.0% (17.7%)
4. フリー・SOHOなどの仕事をしてほしい6.4% (10.5%)
5. パートなどで家計を助けてほしい9.1% (13.6%)
6. 仕事は辞めてほしい3.2% (6.1%)
7. その他(相手に任せるなど)15.5% (5.6%)

Q生活費の分担はどうしたいですか？

独身男性

独身女性

1. 妻と夫が収入に応じて分担51.5% (50.0%)
2. 夫が大黒柱、妻は小遣い程度を稼ぐ32.7% (27.4%)
3. 妻の収入をメインにする0.7% (0.1%)
4. その他15.1% (22.5%)

Q結婚したら家事分担はどうしたいですか？
(独身男性側が望む比率) 夫4.3 対 妻5.7
(独身女性側が望む比率) 夫3.8 対 妻6.2

【図 14】「結婚したら幸せになる」と思う女性は2割弱

Q結婚したら女性は幸せになるとおもいますか？

独身女性

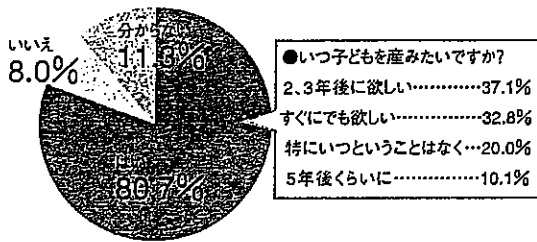
独身男性

- | | |
|----------------------|----------------------|
| なる17.8% | なる24.0% |
| ならない11.0% | ならない10.8% |
| どちらとも言えない71.2% | どちらとも言えない65.2% |

【図 16】 8割が「子どもは欲しい」

子どものいないシングル&既婚者に聞いた

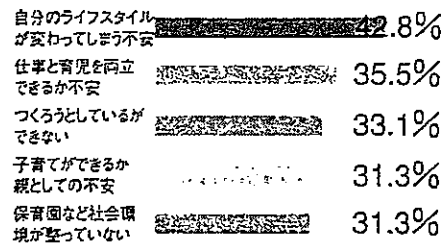
●あなたはいつか子どもが欲しいですか？



【図 17】 子どもを持つとライフスタイルが変わるのが不安

子どものいない既婚者に聞いた

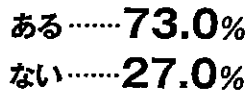
●子どもが欲しいのに子どもを産んでいない理由は？



(複数回答)

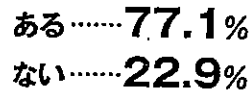
【図 18】

子どもを産むことにためらいがありますか？

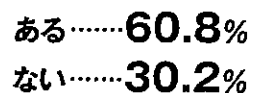


【図 19】

あなたは子どもを産んだら犠牲にしなければならないものがあると思いますか？

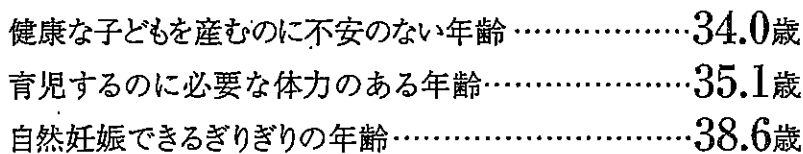


あなたは子どもを産んでも犠牲にしたくないものがありますか？



【図 20】

読者の考える出産のタイムリミットは？



本誌アンケート調査は、03年2月上旬にインターネットにより実施。763人から回答を得た。平均年齢は31.9歳。上記の回答は全員に聞いたもの。回答者のうち子どもがいない人（シングル・既婚含む）は503人。その人たちが出産のタイムリミットを実感したのは30.3歳。

子どものいない女性に聞いた
「あなたは何歳くらいで子どもを産みたいですか？」

平均年齢 32.1歳

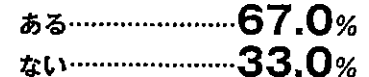
【図 23】

一ワーカーマザーの証言ー

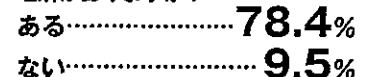
仕事と子育ての両立について

イヤな思いをさせられたことある

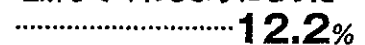
あなたは両立について、職場や周囲の人から嫌な思いをさせられたことはありますか？



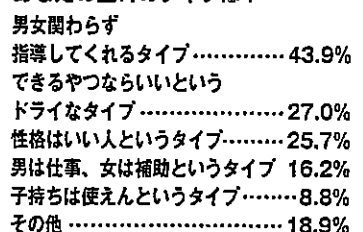
職場の上司はあなたが仕事と子育てを両立することに理解がありますか？



最初はなかったが理解してくれるようになった



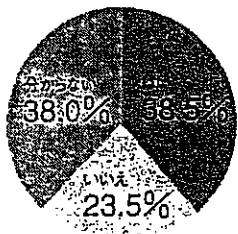
あなたの上司のタイプは？



【図 21】 産みたいと思ったときに産める体か不安

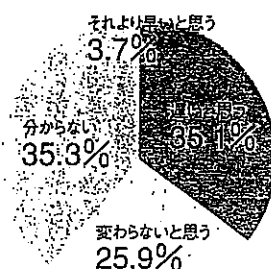
全員に聞いた

●あなたは産みたい時に産める体だと思いますか？



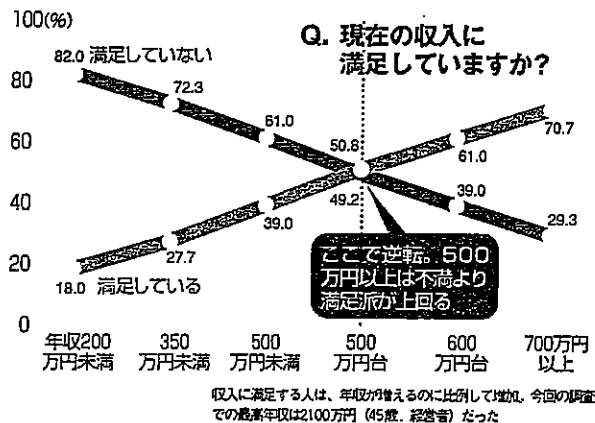
【図 22】 産むのは遅くなるかも・・・？

自分が産みたい年齢に比べ、現実的に産むのは何歳くらいだと思いますか？



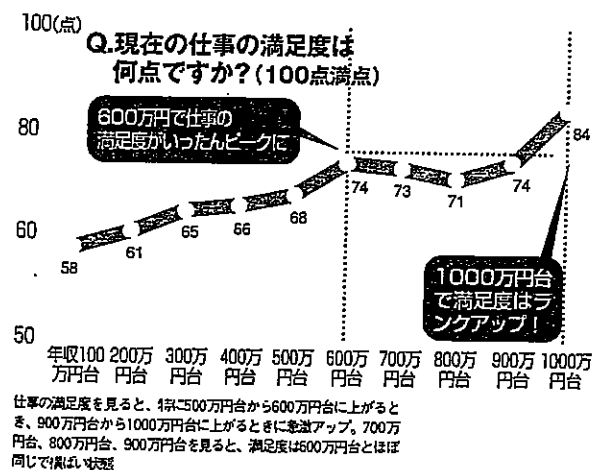
【図 A】

年収500万円超で満足度アップ



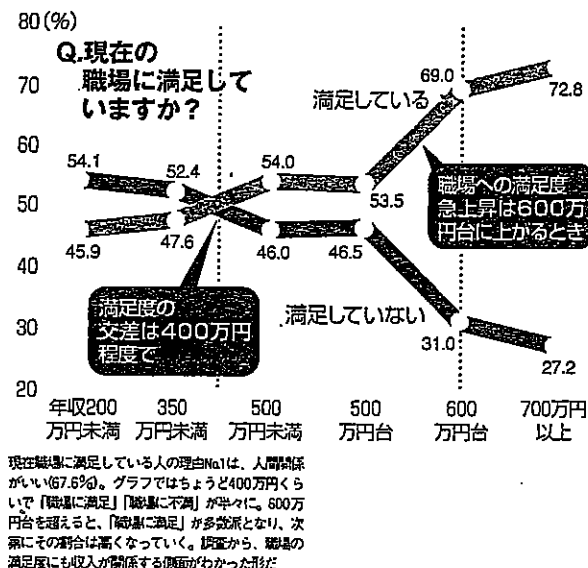
【図 B】

600万円の仕事の満足度がいったんピークに



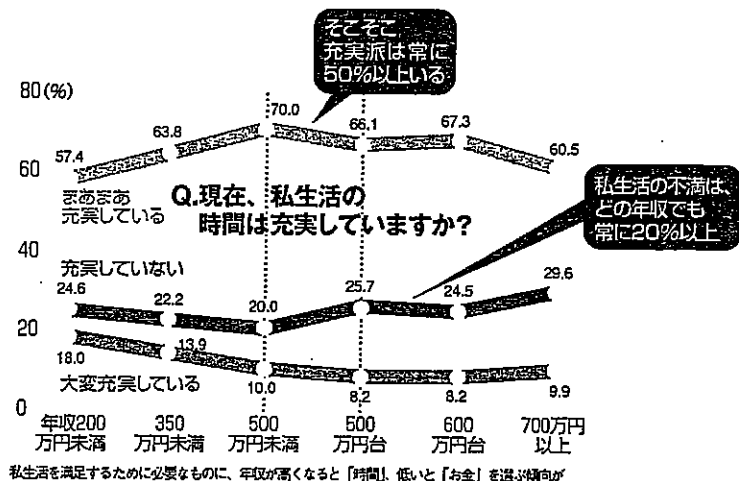
【図 C】

職場への満足度も年収600万円から急激アップ



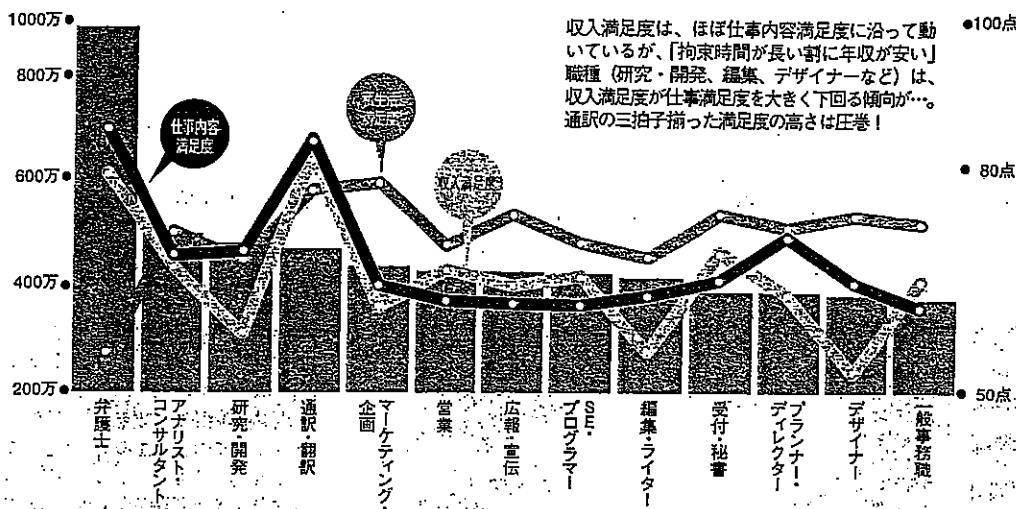
【図 D】

私生活満足度は年収に左右されない!?



【図 E】 収入、仕事、私生活の満足度。そのバランスは職種によって違う

収入、仕事、私生活…三拍子揃って満足度が高いのは通訳だった！



【図 F】 年収に近い額を貯金している！

貯蓄額	447万円
シングル	401万円
既婚	596万円
貯蓄歴	8.5年
貯蓄の目標額	1127万円



現在の収入(税込み)

● 年収 369万円

● 月収 25万円

既婚者の世帯収入(税込み)

・ 年収 738万円

・ 月収 48万円

【図 G】 老後のために貯蓄する

貯蓄の目的はなんですか？ 上位3つまで選んでください。(複数選択可)

	%
1. 老後の生活のため	36.5%
2. 特に目的はないがなんとなく	35.0%
3. リストラ・失業など不測の事態に備えて	33.5%
4. 当面の生活のため	28.6%
5. 結婚のため	24.1%
6. 車などほしいものを購入するため	20.7%
7. 住宅購入のため	17.7%
8. 留学や社会人入学、資格取得など勉強のため	11.8%
9. 子どもの教育資金のため	10.8%
10. 独立・起業のため	6.4%

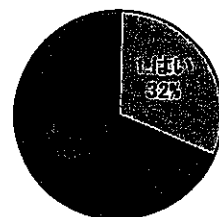
【図 J】

1カ月のおおよその支出を教えてください。

	支出平均
1. 住居費	65,514 円
2. 食費	38,534 円
3. 水道・光熱費	13,956 円
4. 通信費	11,692 円
5. 服飾費	21,355 円
6. 娯楽費	17,590 円
7. 教養費(自己投資など)	14,137 円
8. 図書新聞費	6,678 円
9. 交際費	22,184 円
10. 教育費	33,629 円
11. 化粧品代	7,933 円
12. 医療費	6,856 円
13. 生命保険	17,240 円
14. 貯蓄	64,185 円
15. 住宅以外のローン	66,459 円
16. その他	36,040 円

【図 H】 投資の経験者は約 3 割

貯蓄に運用商品を利用していますか？



【図 I】 失業や漠とした不安から貯蓄

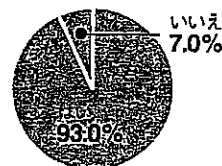
お金に対する悩み・不安は？

- 1 思うように貯蓄ができない…… 36.1%
- 2 不況・リストラで失業が不安… 34.0%
- 3 いくら貯蓄すれば
安心が分からない…………… 32.0%
- 4 節約ができない…………… 29.5%
- 5 一生シングルかもと不安…………… 26.1%
- 5 マネー知識がない…………… 26.1%

(複数回答)

【図 K】 公的年金に不安＆不満あり

Q.公的年金について、不安・不満に思うことがありますか？

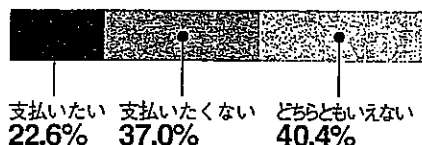


Q.不安がある方、不安度を点数で表すと何点ですか？
(点数が多いほど不安度が高く100点が最高)

平均 81.4点

【図 L】 「公的年金を払いたい」のは約 2 割

Q あなたは公的年金の保険料を支払いたいと思いますか？



【図 M】 Q 「払いたくない」方
その理由は？(複数回答)

自分が払った分 戻ってこないと思う	97.6%
払う人と払わない人が いて不公平	63.5%
何となく不信感があるから	36.5%
別に年金を もらわなくてもよい	4.7%
その他	15.3%

資料出典/いずれも「日経ウーマン」読者アンケートより。ホームページ上で実施した。回答者数など詳細は以下の通り。

【図 1～5、7、8、図 E】

2004 年 1 月に実施。1818 人の女性（独身 64.9%、既婚 35.1%）から回答を得た。回答者の平均年齢は 31.5 歳。（2004 年 4 月号、「女の給料」特集）

【図 9～15】

2003 年 5 月上旬から下旬にかけて実施。回答数既婚女性 965 人（平均年齢 32.3 歳）、独身女性（同 28.5 歳）、独身男性 412 人（同 30.4 歳）。（2003 年 8 月号、結婚特集）

【図 16・17・20・21・22】

2003 年 2 月上旬に実施。763 人から回答を得た。平均年齢は 31.9 歳。回答者のうち子どもがいない人（シングル・既婚含む）は 503 人。その人たちが出産のタイムリミットを実感したのは 30.3 歳。（2003 年 5 月号、出産のタイムリミット特集）

【図 18・19・23】

2001 年 12 月上旬に、出産・育児と仕事の両立に関するアンケートを実施。出産経験のない人 263 人（平均年齢 29.9 歳、平均年収 372.4 万円）、出産経験のあるワーキングマザー 277 人（平均年齢 34.3 歳、平均年収 343.6 万円）から回答を得た。（2002 年 3 月号、仕事と子育て特集）

【図 6、A～D】

2003 年 2 月上旬から中旬にかけて「ワークライフバランスと収入満足度」に関するアンケートを実施した。有効回答者数は 3155 人。平均年齢 32.1 歳、既婚 51.2%、未婚 48.8%、子どもあり 33.3%。

（2003 年 5 月号、収入と満足度特集）

【図 F～J】

2003 年 9 月に実施。241 人から回答を得た。平均年齢 31.2 歳。（2004 年 1 月号お金の臨時増刊号＝2003 年 11 月末発売）

【図 K～M】

2003 年 7 月に実施。231 人（平均年齢 32.1 歳）から回答を得た（2003 年 10 月号、年金＆保険特集）